

平成29年度 水稻生育状況（第4報）

岐阜県中山間農業研究所 中津川支所

1. 生育概況（7月14日調査）

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	73.6（97%）	436（88%）	2.7（-）	32.2（-1.9）	9.0（-）
	前年	77.1	603	2.9	30.2	11.0
	平年	75.2	492	-	34.1	-

栽培条件：移植5月15日 栽植密度18.5株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.3kg/a

平 年 値：過去5年間(H24年～H28年)の平均値
()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 気象概況

7月上旬の平均気温は平年より1.6℃高く、日最高平均気温は平年より2.4℃高い。

7月上旬の降水量は平年より多いが、日照時間は多い。

2) 生育概況

草丈は平年並。分けつは平年よりやや少ない。葉色は平年並。前回までの調査では、生育が平年より遅れていたが、気温が高く、日照時間が長いことにより、生育は平年並となった。幼穂長は約10cmであることから、出穂期は前年より5日早い7/26と推測される。

3) 病虫害等の発生状況

病虫害の目立った発生はみられない。

4) 今後の管理

名古屋地方気象台の1ヶ月予報（7月6日発表）では、気温は平年より高いと予想されている。また、気象庁から7月19日ごろに梅雨明けしたと発表され、今後、気温が高いことが予想されることから、出穂・成熟時期が早まると予想される。さらに、病虫害防除所から斑点米カメムシ類の発生が多いという予報（7月13日発表）がでている。そのため、畦畔の草刈りは出穂前の早い時期に行うとともに、カメムシ類の適期防除を行う。出穂後に草刈りを行う場合はカメムシ類の防除後に行う。